

# 総括シンポジウム 「国立大学改革の最前線」

〈第1日目〉 3月1日(金) 13:00~18:00 (開場12:30)

〈第2日目〉 3月2日(土) 9:00~11:30 (開場 8:30)

政策研究大学院大学 想海樓ホール(1階)

主催: 文部科学省、政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策研究センター

平成 31 年 3 月 1 日

司会: 小川 哲生 (大阪大学 理事・副学長)

国立大学名	発表時間	発表題目	発表者
北海道大学	13:20-13:30	北海道大学におけるIRの取り組み	長谷山 美紀 (情報科学研究科 教授)
山形大学	13:30-13:40	山形大学のガバナンス改革	久保田 功 (理事・副学長)
新潟大学	13:40-13:50	産業界と連携した分野横断的な'innovative thinking'は「教える」ことができるか? ~ある授業開発の試み~	高橋 秀樹 (人文社会科学系・教授/副学長)
茨城大学	13:50-14:00	茨城大学の教育改革について -DPに基づいた教育イノベーションの推進-	太田 寛行 (理事・副学長(教育統括))
筑波大学	14:00-14:10	筑波大学における大学経営改革の歩み	猿渡 康文 (大学経営改革室 室長/ビジネスサイエンス系 教授)
宇都宮大学	14:10-14:20	医学部を持たない小規模地方国立大学の取り組み	吉澤 史昭 (学術院(農学部) 教授)
群馬大学	14:20-14:30	センター活動を通じた群馬大学の機能強化	花屋 実 (副学長/企画戦略室長/大学院理工学府 教授)
東北大学	14:30-14:40	東北大学の経営改革	青木 孝文 (理事・副学長)
山梨大学	14:50-15:00	山梨大学の今とこれから	大塚 稔久 (大学院総合研究部医学域 教授)
愛媛大学	15:00-15:10	愛媛大学の産学連携強化に向けた取組	野村 信福 (学長特別補佐/社会連携推進機構副機構長)
名古屋大学	15:10-15:20	研修を通して学んだことを名古屋大学で実行した取組	木村 彰吾 (理事・副総長)
高知大学	15:20-15:30	高知大学におけるオープンイノベーションの土作り	渡辺 茂 (総合科学系副学系長/希望創発センター副センター長) 菅沼 成文 (医学部長)
京都大学	15:30-15:40	京都大学における大学改革の取組	飯吉 透 (理事補/高等教育研究開発推進センター長/教授)
岡山大学	15:40-15:50	研修を活かすための岡山大学の取り組み -その苦悩と希望-	那須 保友 (医歯薬学総合研究科長/研究推進産学官連携機構医療系本部長)
長崎大学	15:50-16:00	挑戦した大学改革 長崎大学編	塚元 和弘 (教学担当理事・教務担当副学長)
佐賀大学	16:00-16:10	佐賀大学の現状(イマ)と未来(コレカラ)	寺本 憲功 (理事・副学長)
九州大学	16:10-16:20	躍進百大:広大なキャンパスから世界へ	玉田 薫 (先端物質化学研究所 教授/副理事)
総合討論	16:30-18:00	総合討論 ファシリテーター 上山 隆大 氏(内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員)	

平成 31 年 3 月 2 日

司会: 大竹 尚登 (東京工業大学 科学技術創成研究院 副研究院長)

国立大学名	発表時間	発表題目	発表者
東京工業大学	9:10-9:20	東工大のガバナンス改革とこれからの課題	佐藤 勲 (統括理事・副学長/理事・副学長(企画担当))
東京農工大学	9:20-9:30	東京農工大学の改革の現状	千葉 一裕 (農学研究院長/農学府長/農学部長) 神谷 秀博 (生物システム応用科学府長)
東京大学	9:30-9:40	東京大学の改革の取組み	瀬川 浩司 (先端科学技術研究センター教授)
静岡大学	9:40-9:50	地域イノベーション・エコシステム確立に向けて	木村 雅和 (理事(研究・社会産学連携担当)・副学長、イノベーション社会連携推進機構 機構長)
広島大学	9:50-10:00	大学トップマネジメント研修を振り返って - 広島大学における取組 -	渡邊 聡 (総合戦略室・副学長(総合戦略担当))
三重大学	10:00-10:10	地方大学による社会連携と経営への意義	西村 訓弘 (副学長(社会連携担当)/地域イノベーション学研究所 教授)
熊本大学	10:10-10:20	これからの熊本大学の課題と方策	宇佐川 毅(大学院先端科学研究部長・工学部長)
大阪大学	10:20-10:30	大阪大学らしい大学改革に向けて	小川 哲生 (理事・副学長)
総合討論	10:40-11:10	総合討論 ファシリテーター 上山 隆大 氏(内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員)	
修了証授与式	11:10-11:30		

# 総括シンポジウム 趣旨説明 「国立大学改革の最前線」

本シンポジウムは、文部科学省の委託事業「イノベーション経営人材育成システム構築事業」といういかめしい名前を冠しているが、実態としては日本の国立大学の経営層（ユニバーシティ・リーダーズ）を育成するための場として3年前にスタートした。

国立大学が法人化されたのが2004年。それからすでに14年という月日が過ぎている。この間、世界の大学の環境は文字通り、激変している。もともと私立の研究大学が大きな役割を果たしてきた米国において、公的資金に依存する州立大学でも、私立大学と遜色ないマネジメント手法を導入するようになってきている。また、政府からの補助金で研究と教育を行ってきた欧州の大学でも、グローバルな大学間競争の高まりと、地球規模の知識経済の進展に対応するかのように、どの大学も民間資金の大胆な導入をはかり、大学経営のノウハウを互いに学び合いながら大学の改革を進めてきている。

翻って我が国においては、法人化のプロセスにおける行政的な難しさもあって、大学を組織として経営する意識がなかなか育たなかった。その課題を指摘する声は様々なところで発せられてきたが、どのように大学人のマインドセットを変え、研究と教育の最先端に豊かな資金と社会との接点を広げるべきがあるのか、多くの関係者が悩みつつ大学運営に当たって来たのが現状であろう。このプログラムは、その苦悩を解決する一助となればとの思いから企図されたものである。

3年の間に、毎年20名を超える国立大学の副学長・学長補佐クラスの大学人に、次世代ユニバーシティ・リーダーを育成するこの研修に参加していただいた。国内研修、海外研修、内外ネットワークを3つの柱として行ってきた本研修では、海外のリーダーズを招聘してのシンポジウム、著名な研究大学への訪問研修を通して、大学マネジメントについての様々な知識を共有することができたことと自負している。しかしながら、プログラムを遂行するなかでもっとも大きな成果が何かと問われれば、大学の現状への危機感から、海外の事例を学び自らの大学の課題を解決しようとする次世代大学人の、大学を超えたネットワークが蜜に構築されたことだったと答えたい。同じような悩みを抱えながら、日々、学生と対峙し、研究室を運営する大学人がこれほど濃密に大学経営について率直に議論できる機会はほとんどなかったのであろう。参加者のこうした思いは、プログラムを計画した執行部の予想を遥かに超えるものだったと断言できる。

「国立大学改革の最前線」と題するこの総括シンポジウムでは、参加された国立大学の最前線の取り組みを紹介させていただくとともに、これからの日本の大学の行方について議論を深める機会としたい。大学の現状を憂える大学人からの真摯な声と理解していただければ幸いです。

## 参加登録

最新プログラム及び参加申込: <https://krs.bz/scirex/m?f=227>

参加費: 無料<事前登録制> 登録締切: 2月25日(月) 正午

※申込みは定員に達し次第、締め切らせていただきます。



## アクセス

### 政策研究大学院大学

<http://www.grips.ac.jp/jp/about/access/>

〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1

※会場は本学1階にあります。

※受付は南門入口(1階)で行います。(当セミナーご参加の方は、正門入口3階からの入構ができませんのでご注意ください。)

最寄駅  
都営大江戸線六本木駅  
東京メトロ日比谷線六本木駅  
東京メトロ千代田線乃木坂駅

